

平成30年度全国学力・学習状況調査（生徒質問紙編）

前号は、平成30年度の「全国学力・学習状況調査」の学力についてお知らせしましたが、今回は生徒質問紙の結果についてお知らせします。生徒質問紙は、生徒の学習意欲・学習方法・学習環境・家庭や地域での生活の状況に関する調査です。

4月時点での調査ですから、状況が変わっている項目もあるかもしれませんが、山口県や全国と比較した本校生徒の特徴を以下に示します。

（1）山口県全体の結果

【望ましい状況】

- 《地域との関わり》授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思う子どもや、今住んでいる地域の行事に参加している子どもの割合は、全国と比べて高い。
- 《子どもたちの意識》自分にはよいところがあると思う子どもや、いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う子どもの割合は、全国と比べて高い。人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合も、全国と比べて高い。
- 《学校の授業や活動》課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う子どもや、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う子どもの割合は、全国と比べて高い。

【課題のみられる状況】

- 《家庭での学習習慣》平日（学校の授業時間以外）に1時間以上勉強をする子どもの割合は増加傾向にあるものの、2時間以上勉強する子どもの割合は、全国と比べて低い。平日に読書をする子どもの割合は、全国と比べて高いものの、「全くしない」と回答した子どもの割合が、小学校18.3%、中学校27.1%であり、依然として高い傾向が見られる。
- 《地域との関わり》地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある子どもの割合は、全国と比べて高いものの、減少傾向が見られる。

（2）和木中学校の結果

◎：肯定的な回答が多い ▲：課題がある

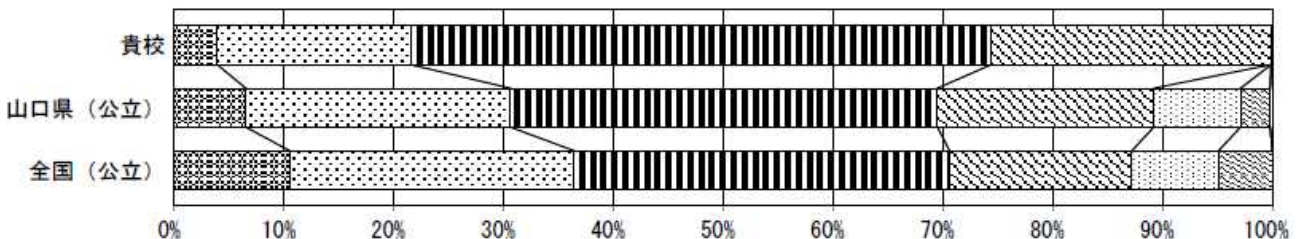
① 主体的・対話的で深い学びの視点からの学習への取組状況

- ◎ 数学の勉強は好き。〈69%〉
- ▲ 理科の勉強は好き。〈62%〉
- ◎ 家で、自分で計画を立てて勉強をしている。〈61%〉
- ◎ 家で、学校の宿題をしている。〈99%〉
- ▲ 家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している〈22%〉

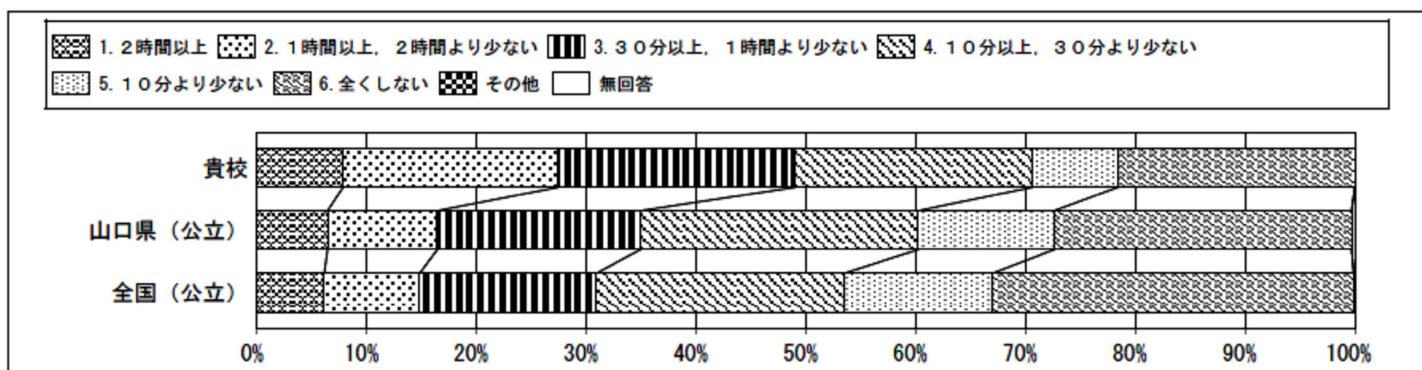
学習時間・読書等

- ▲ 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

1. 3時間以上 2. 2時間以上、3時間より少ない 3. 1時間以上、2時間より少ない 4. 30分以上、1時間より少ない
5. 30分より少ない 6. 全くしない その他 無回答



- ◎ 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



授業での学習への取組については、数学は肯定的な回答が多かったのですが、理科への取組に課題がありますので、今後研修を重ね、授業改善に努めていきたいと思ひます。自主的な家庭学習に関しては、学習時間が全国や県に比べて短く、2時間以上している割合が22%と少ないです。「自分で計画を立てて勉強する。」は61%と割合が高いので、家庭学習時間をきちんと確保すれば学力が向上すると思ひます。また、新聞を「ほとんど、または、全く読まない」生徒が65%います。新聞をよく読む生徒は社会への興味・関心が高く、様々な文章を読む機会が多くなるので、学力が向上する傾向にあります。図書室にも新聞はありますので、積極的に読んでください。

② 規範意識や自己有用感の状況

- ◎ 自分には、よいところがある。〈84%〉
- ◎ 先生は、あなたのよいところを認めてくれている。〈92%〉
- ◎ 将来の夢や目標を持っている。〈80%〉
- ◎ 学校の規則を守っている。〈100%〉
- ◎ いじめは、どんな理由があってもいけない。〈98%〉
- ◎ 人の役に立つ人間になりたい。〈100%〉

「自分には、よいところがある。」「先生は、よいところを認めてくれる。」「人の役に立つ人間になりたい。」は、全国や県に比べて割合が高く、概ね自己有用感があることがうかがわれます。「将来の夢や目標を持っている。」生徒が80%しかいませんので、早くに自分の進路について真剣に考えてほしいと思ひます。また、学校の規則は守っているのですが、「いじめは、どんな理由があってもいけない。」の割合が100%になっていないということは、わずかにいじめを容認する考えの生徒がいるということですから、今後道徳教育に力をいれていきたいと思ひます。

③ 地域や社会に関する興味・関心の状況

- ◎ 1・2年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わった 〈86%〉
- ◎ 今住んでいる地域の行事に参加している 〈61%〉
- ◎ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある 〈71%〉
- ◎ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある 〈51%〉
- ◎ 地域社会などでボランティア活動に参加したことがある 〈69%〉
- ◎ 地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがある 〈31%〉

コミュニティー・スクールや地域協育ネットの取組により、地域での活動や社会の問題や出来事への関心に肯定的な回答をした生徒の割合は、全国や県に比べて高いです。今後も、学校と地域のつながりを深め、「町ぐるみ『和木学園』」で園小中と地域が一体となって、みんなで学び合えるような学校を目指していきたいと思ひます。

今年度の結果を分析・検討して、国語や数学だけでなく、本校生徒の課題を克服するために全教科で「課題解決に向けた授業改善」やICT機器を活用した「主体的・対話的で深い学び」による学力向上に努めていきたいと思ひます。1・2年生についても、山口県学力定着状況確認問題の結果を参考にして、学力向上に努めていきたいと思ひます。また、家庭学習の時間や方法、メディアの利用方法等の生活改善をしていきたいと思ひますので、今後とも和木中学校の教育にご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。